



モザンビークの  
いのちをつなぐ会  
Ponte para Viver em Mocambique

## モザンビークのいのちをつなぐ会

今日を生きるから未来へ生きるへ。

日本の知恵を活かしモザンビークのQOLを向上。

### 活動紹介



Feb.2024



## 代表理事 榎本恵 プロフィール

### Megumi Enomoto

- ◆ 福岡県北九州市小倉生まれ。
- ◆ 大学卒業後、京都、東京の広告代理店で販促・ブランド開発・商業開発に関するプランナー&コピーライターとして勤務。
- ◆ 27歳で起業・事業拡大支援を行う Planning MAY を開業。  
インキュベーション事業、販促、人材育成などを行う。  
主に環境・農業系企業、通販・教育系企業の支援を手がける。
- ◆ 2012年、日系バイオ燃料企業のもザンビーク進出をきっかけに、初めてアフリカの地を踏む。半年間、新規事業開発業務を行う。
- ◆ 現地で目の当たりにした**投資と貧困問題のジレンマ**、  
**先進国と後進国のニーズの不調和**を少しでも解消すべく  
2013年4月『モザンビークのいのちをつなぐ会』を設立。  
2018年12月一般社団法人化。





## ディレクター ナジャ プロフィール

- ◆ 1987年カーボデルガド州ムエダ村生まれ。マコンデ族。
- ◆ 1991年4歳の時に内戦の戦火を逃れ、ムエダからペンバへ移住。
- ◆ モザンビークとタンザニアで名を馳せたミュージシャンの叔父と同居し、15歳の時に自分のバンドを結成。
- ◆ アフリカ圏内の大統領などの要人の会合や社会貢献イベントで多く演奏。
- ◆ 2015年から日本や欧州でも公演を行う。
- ◆ 2019年ペンバ青年協同組合PVMを設立。



三重県伊勢市には  
マコンデ美術館あり



タトゥーはマコンデ族の印だった

# Nadja

Nadja ナジャ (マコンデ民族)

1987年、内戦中に、モザンビークカーボデルガド州のマコンデ民族の故郷・ムエダで生まれる。3歳の時に戦火を逃れるため、州都ペンバに母に連れられ、二人の姉とともに移住する。東アフリカで人気を博したミュージシャンであり戦争被害者の救済にも注力した叔父のエンゴンドに引き取られ、音楽と共に生きる暮らしが始まる。18歳で最初のバンドを結成した時期に、ナンゴンドが交通事故で亡くなり、その意志を受け継ぎ、音楽を通じた社会貢献にも積極的に携わる。ナジャが暮らす州最大の貧困地区での日々の暮らしや、マコンデの誇り、物語を歌にのせ、伝統音楽を礎とした独自のアフロ・ポップの世界観で注目を集める。モザンビーク国内最大の音楽祭をはじめ、GALA、アフリカ圏内の要人の会合での演奏も増え、国民的アーティストに。2015年より日本、欧州での音楽公演を開始し、これまで300箇所以上で、公演を行う。モザンビークのいのちをつなぐ会には設立前の2012年より現在にわたり協力。2019年にはペンバ青年共同組合を立ち上げる。

#### ●Nadja's Album

Album: People of Mozambique  
Produced in 2015  
Recording in Pemba, Mozambique  
Mixing in Pemba, Mozambique



#### ●Mangundao's Album by Nadja

Album: Homenagem  
Album on a CD in 2015  
Recorded by Radio Mozambique  
in the 1980s and 1990s



Album: Mokonde Milele  
Produced in 2018  
Recording in Osaka, Japan  
Mixing in Osaka, Japan



Photographed by Kohai Ishikawa



## アフリカ・マコンデ族の音楽と文化交流ツアー

ナジャはモザンビークの現地ディレクターとして、また日本と欧州で、国際相互理解推進活動を実施。これまで400公演以上、2.2万人を動員。





# モザンビーク共和国の概要

- 面積: 79.9万平方キロメートル (日本の約2.1倍)
- 人口: 約3,242万人 (日本の約1/4)、人口増加率2.9%
- 首都: マプト (最南部に位置、人口約127万人)
- 民族: マクワ、マコンデ、ロムウエなど43部族
- 言語: ポルトガル語と各民族の言語
- 宗教: キリスト教、イスラム教、原始宗教

## 略歴:

- 1498年 ヴァスコ・ダ・ガマがモザンビーク島に到達
- 1752年 ポルトガルによりモザンビーク総督府設置
- 1964年～1974年 (停戦) モザンビーク独立戦争
- 1975年 ポルトガルから独立
- 1977年～1992年 (停戦) モザンビーク内戦

2017年～現在、モザンビーク北部でイスラム過激派のテロ攻撃続発

◆平均寿命: 58.1歳 (2023年) ◆出生率: 4.71人 (2020年)

◆5歳未満の乳幼児死亡率: 18% (カーボデルガド州2008年)

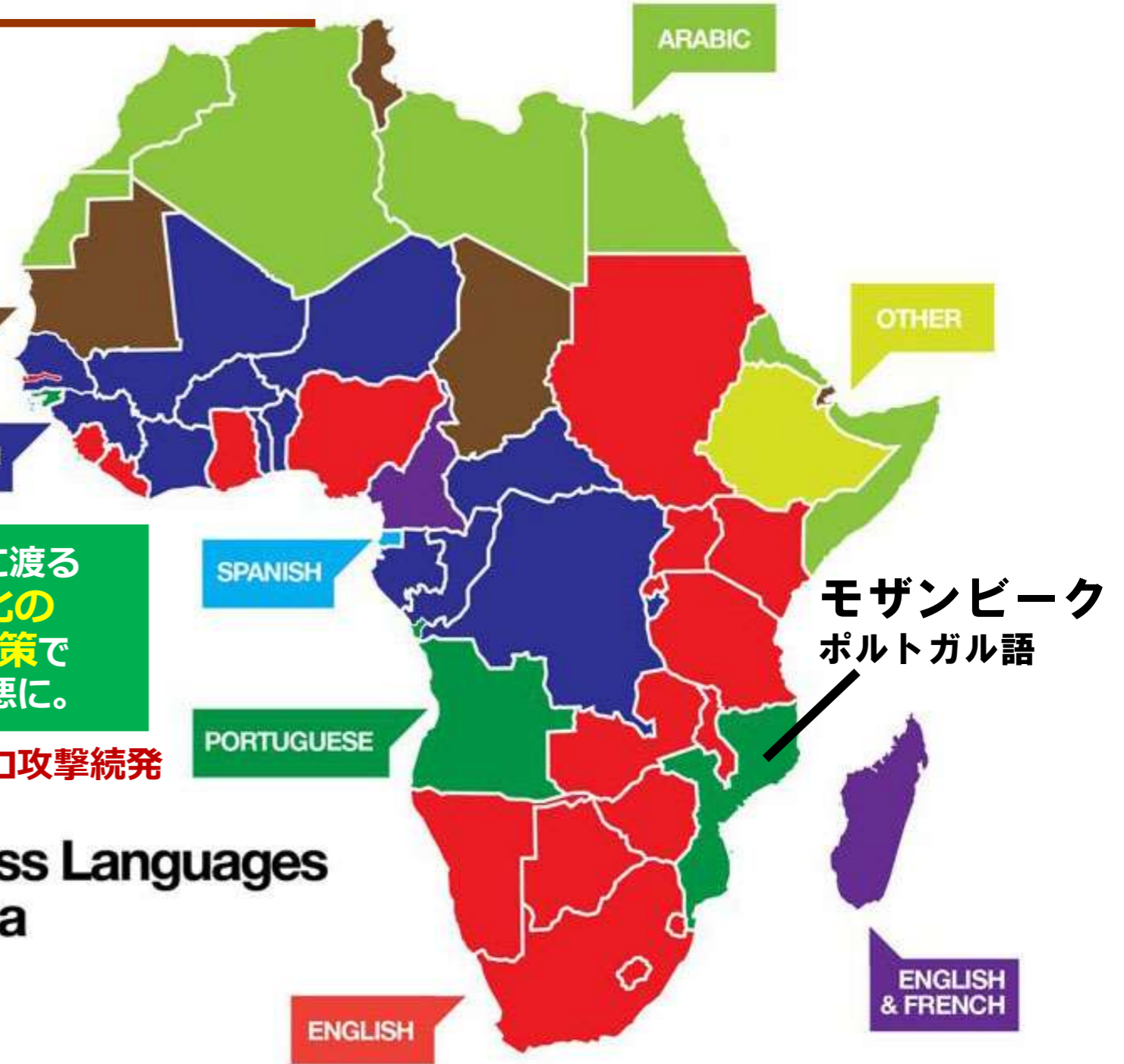
◆5歳未満の栄養失調率: 56% (カーボデルガド州2008年)

◆HIV感染率: 13.9% (2022年 世界2位)

◆人間開発指数: 191カ国中、185位 (UNDP2022年)

470年間に渡る  
植民地化の  
愚民化政策で  
QOLが最悪に。

## Business Languages in Africa







## 広大なペンバ湾を臨む、カーボデルガド州ペンバ







# モザンビークのいのちをつなぐ会の活動エリア

**カーボデルガド州**  
テロ紛争の激化が  
世界的な懸念事項

## カーボデルガド州

### カーボデルガド州州都ペンバの当会施設

- 事務所 (2013年～)
- ペンバ寺子屋 (2014年～)
- ナティティCasa de Paz (2021年～)
- ◎エスパンサオンCasa de Paz (2024年度)
- ◎エスパンサオン共同水場 (2023年から着手)

ペンバーナンプラは車で5,6時間

## ナンプラ州ナンプラ

- ナンプラ寺子屋 (2021年～)



首都マプト



## 当会活動地モザンビーク共和国カーボデルガド州の根本的問題

最貧困国の中でも最も貧困度の高いエリア。草の根NGOは当会のみ。

### 教育

長期に渡るポルトガル支配の愚民化政策により教育レベルが非常に低い。識字率は、29.7%。

### 公衆衛生

貧困地区では不衛生な環境により乳幼児死亡率は18%から改善しているものの未だ高い。5.5人に1名が5歳未満で死亡。

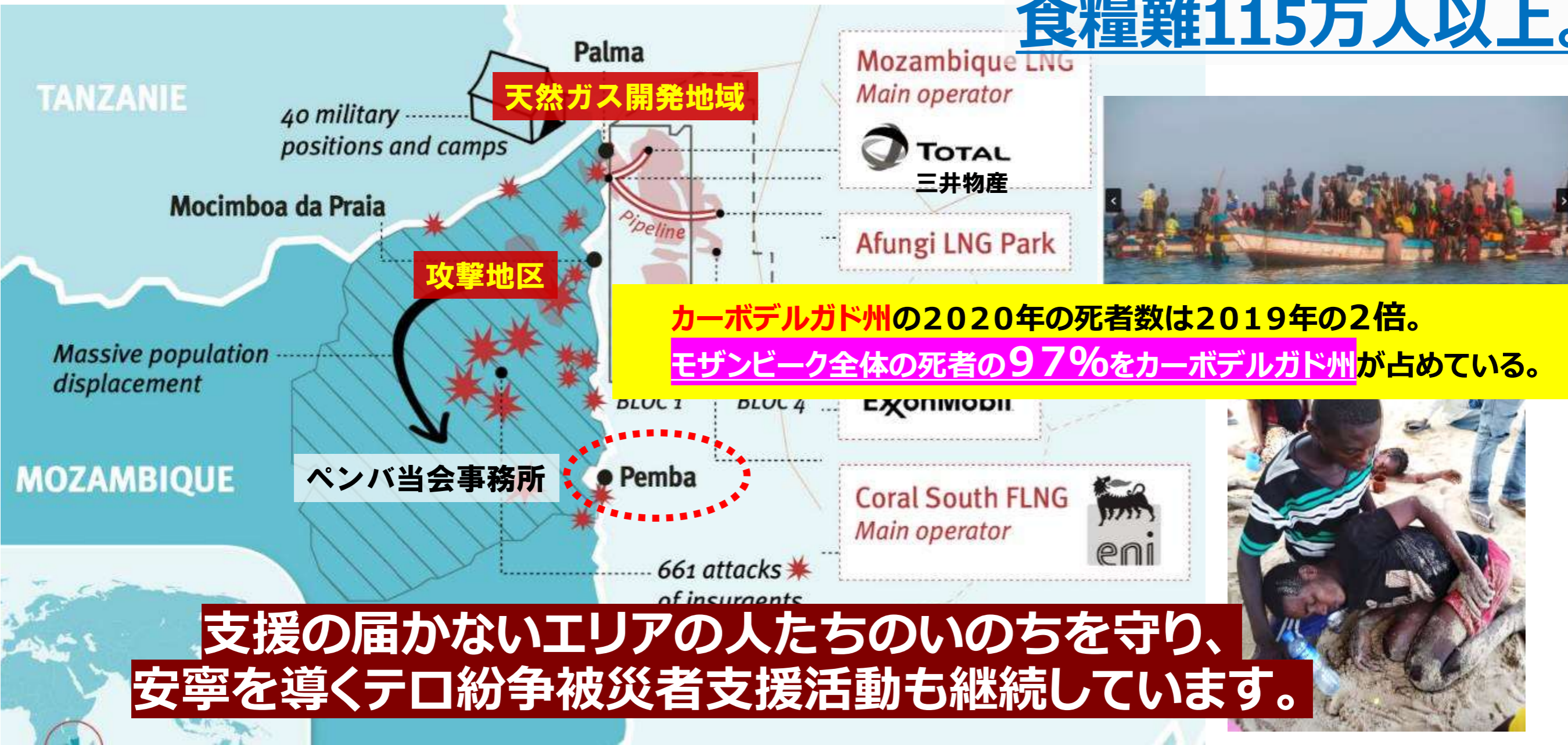
今

### テロ紛争

日本も参入するサブサハラ最大の天然ガス開発を背景に理不尽な構造への不満が高まり、紛争が激化。

日本も参入する巨大天然ガス開発を背景に、イスラム過激派の攻撃が激化。  
**5000名以上が死亡、避難民100万人以上。**

**食糧難115万人以上。**



カーボデルガド州の2020年の死者数は2019年の2倍。  
モザンビーク全体の死者の97%をカーボデルガド州が占めている。



支援の届かないエリアの人たちのいのちを守り、  
安寧を導くテロ紛争被災者支援活動も継続しています。



## モザンビークのいのちをつなぐ会の役割

**最貧困国の最貧困地で、現地住民と一体となった直接活動を続けています。**

- 2022年度の人間開発指数は191カ国中185位。
- カーボデルガド州はかつてより「忘れられた州」と呼ばれており社会投資が行われてこなかった。
- 天然ガス開発により一挙に注目を浴びるも、政策改善は行われず、貧困率が国内でも最も低い州のまま。
- 当会は、2013年よりスラム地区に住みながら現地有志総勢100名とともに地道な直接活動を続けています。

グローバルキャピタルの影で「不可視化され、支援もされない土地」**唯一の草の根NGO。**

- 先進国による開発により発生/問題化するネガティブな事態の伏線回収として、国連系機関や日本を含む開発国から多額の支援金がモザンビークに投入されていますが、残念ながら、スラムの住民たちのもとに国際支援が届くことは、ほんのわずかです。
- グローバル資本主義の「支援・開発」に着目した、マネタイズ化が拡大しており、支援と資金調達の関係が本末転倒している傾向。間接的な支援は実際に現地に届かない場合もあり、現地主体となった「現地の団体による直接支援」が重要です！

**地域住民との信頼関係を基盤にした、ほんとうに必要な支援を、ダイレクトに実行。**



モザンビークのいのちをつなぐ会の活動とスローガン

モザンビーク北部の支援の届かない地で活動を継続！

2024年度から、設立12期目に突入。

教育活動

ペンバ寺子屋

公衆衛生活動

コレラ・コロナ予防

水環境活動

井戸、トイレ整備

環境保全活動

緑化、美化

紛争被災者支援

避難施設(平和の家)

モザンビークのいのちをつなぐ会は「**小さいけれど、力持ち！**」をスローガンに  
スラム地区に住む100名のメンバーとともに、社会支援のジレンマをおこさない、  
現地目線の実効力ある**直接活動**を遂行しています。



## 活動紹介(1) 教育活動 スラムの学び舎・寺子屋の機能

無教育の連鎖を断ち切り、年長者が年少者へ、**学びの循環を創造**するため、カーボデルガド州最大のスラム、ペンバ・ナティティ地区に2014年建設。

### 教育

道徳を基盤に、読み書き、算数、社会、工作など。

### 公衆衛生

手洗い・歯磨き習慣。  
コレラ・細菌感染症予防。

スラム+テロ紛争避難民の  
子どもたち約**350名**が通所。

**命と未来を守るため  
必要不可欠な場**

### 駆込み寺

24時間対応の救急搬送。  
保健、人生相談。

### 配食

**1日1食以下15%**を改善。  
朝と晩の配食活動。

**スラムの学び舎  
寺子屋の機能**

寺子屋教育の目標

寺子屋から進学、起業する子供・青年を輩出する。

スラムの学び舎  
ペンバ寺子屋

1 貧困をなくそう



4 質の高い教育をみんなに



目的: 道徳教育を基本に、知的好奇心を向上。  
内容: 読み書き、算数、英語、工作、音楽等の  
学習、奨学用品の配布

対象: 2歳から40歳(メインは2歳から15歳)

通所人数: 約350名 **幼児組が増加中**



# 夢に近づく、寺子屋キッズ！

寺子屋の「学びの環」で、無教育と貧困の連鎖を断ち切り、逞しい未来を創る



政府の奨学金でドイツ留学が決まったミステリオ。



学校に通いつつ、鉄くず拾いで家計を支え、念願のモデルの仕事も手に入れたエディ。



欧州の財団の奨学金で、ポルトガルの音楽院への留学が決まったオズバルド。

**好奇心に火をつけ、夢に近づく。**  
地域のスター(憧れ)の輩出モデルとして寺子屋も進化していく！



プロサッカー選手になったエルデル。



まずはペンバ寺子屋、そしてナンプラ寺子屋へも波及。

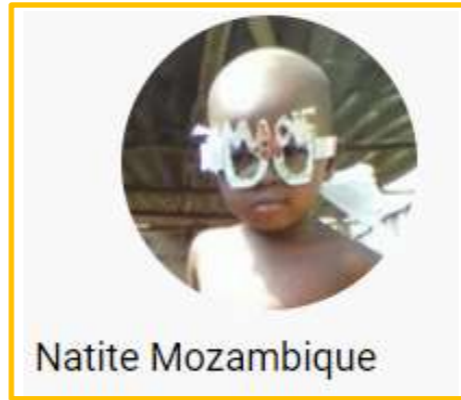


# 寺子屋ディレクターのナジャが寺子屋キッズと作った 「平和の歌」のPV！寺子屋で撮影しています。



<https://youtu.be/yh3JQpjPvw>

Youtubeチャンネル  
**Natite Mozambique**



# 「北九州親善ソング」のPVが完成！



<https://youtu.be/DBQm4YbFHFA>

# 『平和の歌』

真っ白い空、平和のイメージ。  
私は子どもと手をつないで輪になる。  
平和の集会。希望を与え、幸せを与え、  
日々を与え、子どもが成長する。  
平和、調和、喜び。  
戦争がない世界。  
紛争がない世界。  
差別がない世界。  
表現の自由を得る。自由意志を得る。  
遊ぶ、歩く、働く、勉強する。  
子どもは明日の果実。光輝くことができる。  
子どもは明日の果実。発展することができる。  
子どもは明日の果実。  
世界を変えることができる。  
大人たちは私たちの庭に咲く、  
果実の花を大切に世話しよう。  
真っ白い空、平和のイメージ。

●  
作詞作曲：ナジャ

レコーディング・ミックス：オズバルド

撮影・編集：DJブランカ

北九州親善ソング

「Let's go Kitakyushu」 QRコード





## 活動紹介(2) 公衆衛生活動・配食活動

# 3年連続子どもたちの死亡率ゼロを達成!

公衆衛生・配食の  
目標

疾病死亡率の低減。飢餓・栄養失調の改善。



大好きなパンに  
野菜も入ってる!



**【公衆衛生活動】** 目的:衛生習慣を身につける。  
内容:歯磨き、手洗い、爪切り、洗濯、皿洗い等

**【配食活動】** 目的:1日1食以下15%の改善。  
内容:朝のパン、夜の豆シチュー、イベント食の配食。

A young child with dark skin and short hair is sitting in a car seat. The child is looking out the window with a wide-eyed, curious expression. The child is wearing a light-colored, short-sleeved shirt. The background is slightly blurred, showing the interior of the car.

# 駆込み寺としての寺子屋

救急搬送

薬の購入

医療・保健相談

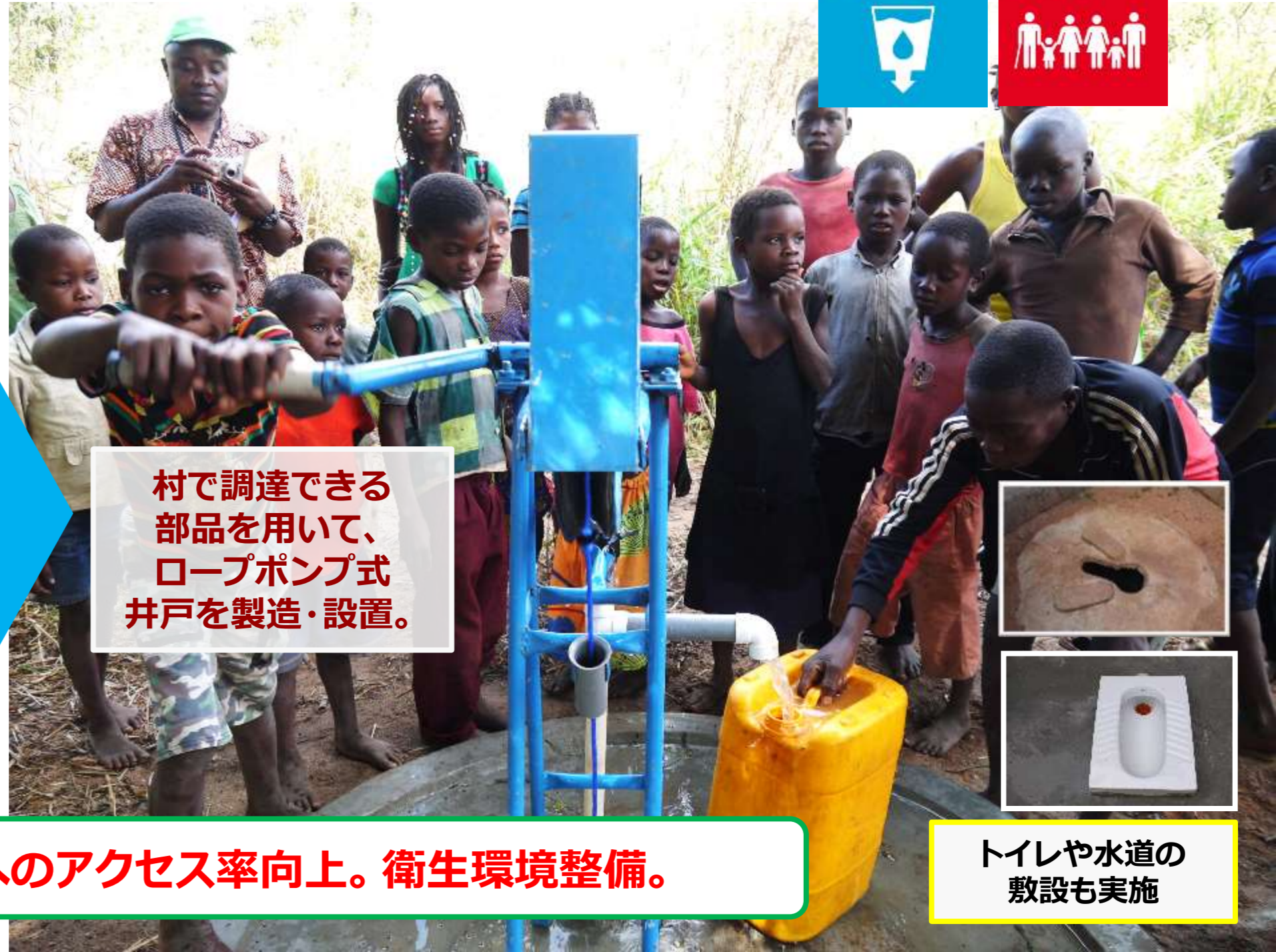
避難民の相談



## 活動紹介(3) 水環境の整備活動～井戸・トイレの整備～



村の水場は川底から滲み出る水。  
すべての生活用水に使用。



村で調達できる  
部品を用いて、  
ロープポンプ式  
井戸を製造・設置。



目的

安全な水へのアクセス率向上。衛生環境整備。

トイレや水道の  
敷設も実施

## 手掘りの深井戸

**ペンバ寺子屋と、ナティティ平和の家には、手掘り45mの深井戸設置。**

すべてスラムの職人さんとの作業。外壁まで配管し、路地から水を配水している。

スラムの人たちも毎日、安全な水にアクセス可能に。



## 活動紹介(4) 環境保全活動～美化、食べられる緑化～

### ペンバ環境美化隊

増加するプラスチック廃棄物への取り組みも急務！



### 食べられる緑化



### モリンガの育成



次はバナナを予定

目的：地球・地域環境意識の向上、きれいな町づくり、栄養失調改善  
内容：ペンバ環境美化活動、モリンガ・果樹の播種育成

目的

自然・衛生環境の改善。栄養失調率の改善。



## 活動紹介(5) テロ紛争避難民支援

16 平和と公正を  
すべての人に



13 気候変動に  
具体的な対策を



2 飢餓を  
ゼロに



10 人や国の不平等  
をなくそう



住居

食料

衣料

浄水

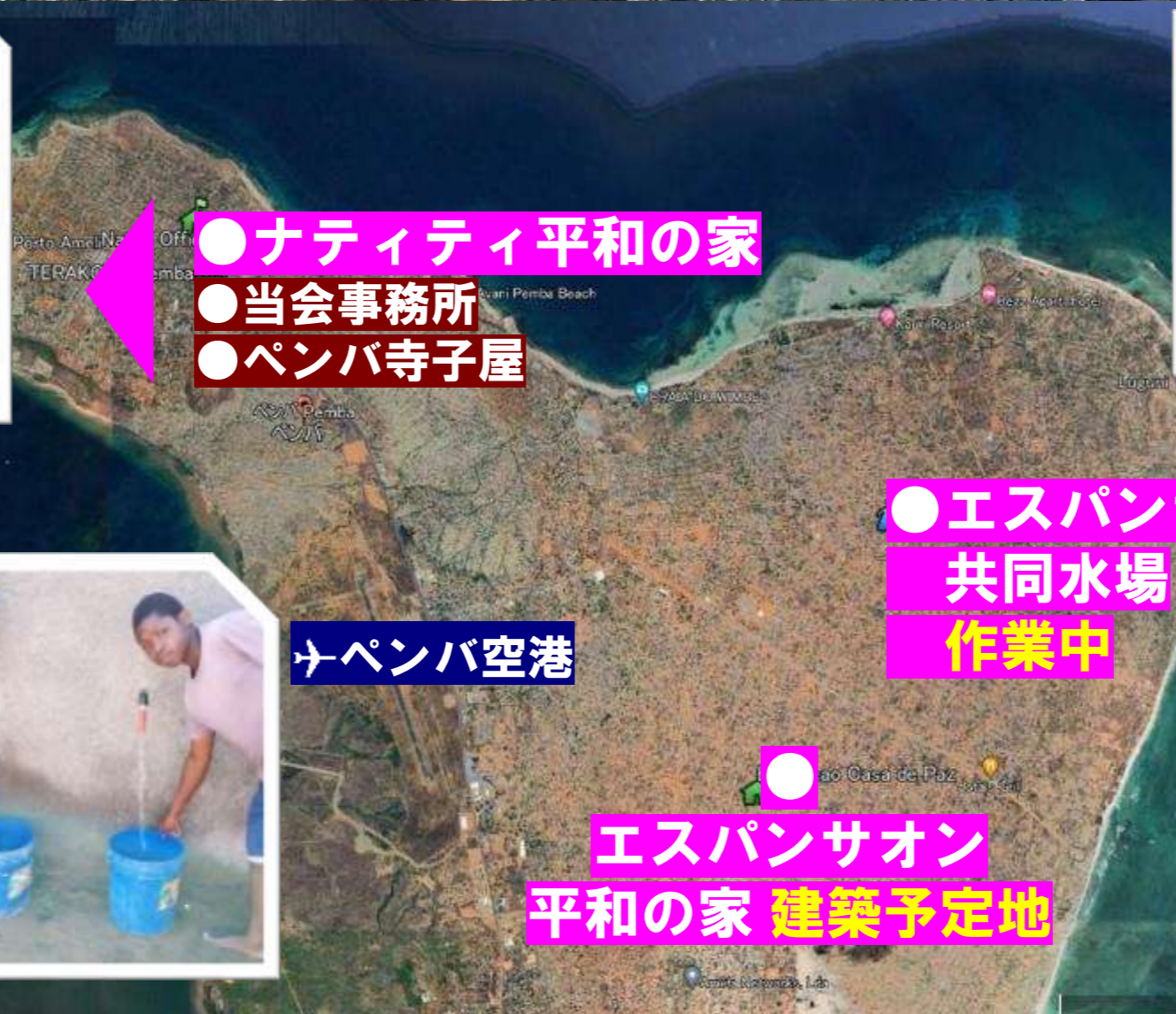
内容: 避難民の家(平和の家)整備、  
水整備、食料配布、衣料配布

目的

支援が行き届かない人たちの生命を確実に守る。



**【テロ紛争被災者支援】モザンビーク共和国カーボデルガド州  
ペンバ市 ナティティ地区およびエспанサオン地区**



- ナティティ平和の家
- 当会事務所
- ペンバ寺子屋

● エспанサオン  
共同水場  
作業中

✦ ペンバ空港

● エспанサオン  
平和の家 建築予定地





新たな挑戦！ ～小さな商いプロジェクト～

【暮らしを守る】 in 失業率6割超のペンバ。

**支援と経済の循環を創る、新たな取り組みを開始！**

当会の課題

民間助成金の獲得が困難になる中、資金調達方法を新たに開拓する必要がある。

《新たな取り組み》

スラムの住民が一人ひとり自立を皆で支えていき、スラムの生活と支援の支え合いを可能とする

# 小さな商いプロジェクト

失業率6割超えのスラムの経済を回し

みんなで創った収益を子ども教育、配食やテロ紛争被災者の支援に  
活かせる活動に進化したい！

社会的ジレンマが起きない、スラムの人たちが働き、スラムの人たちが利用できる仕事を創り出していく！！

## 運送

トラック、バン等、車両の購入

住民や避難民の移動、  
物資の運搬。救急車。

## 薬局、サロン、食堂

店舗事業の始動

スラムの安価な薬局、理髪店  
ミニレストラン等

## 小さな商いプロジェクト

## ミニ市場

フリーマーケットの開設

誰でも商売ができるフリーマーケット。

## 自立支援

進学、就職、起業支援

起業する若者の輩出。  
搾取構造と一線を画す事業の創出。

2024年度に土地を取得し、小さな商いに順次挑戦していく。

① 業務用パン焼き機、製粉機の導入

② ミニバス(バン)の導入

③ 薬局の開設のためのマーケティング

## 薬局の必要性

医療レベルが非常に低く  
呪術師に頼る人が多い。

良い呪術師

(白魔術)

- ・病気を癒す
- ・悪い呪術を祓う

克蘭デイロ



悪い呪術師

(黒魔術)

- ・恨み妬み嫉みを晴らす
- ・復讐

フェティセイロ

病院に搬送して  
処方箋をもらっても  
薬局に薬が売っていない  
ことが多々ある。

病院併設以外の  
薬局は薬代が  
非常に高い。

表裏一体

# 主要スタッフ

カシアーノ、ニーノ



頼もしい寺子屋サバディレクターのカシアーノと足に障害があるけど頑張っている講師のニーノ。ナジヤの不在時も万全の体制で活動を続けてくれます。

パウロ



平和の家マネージャーの住民の意見をまとめるのが得意です。

オズバルド



ペンバ音楽スタジオ主宰の入れ墨の素になる植物・ディンパディーカと。

タニム



寺子屋用務員の知的障害がありますが、真面目で面白い！

ジョルダン



警察官のジョルダンは、トラブル発生時や交渉事に大活躍してくれます。

アリサーヤ



寺子屋の調理隊長の寺子屋を建てる以前は事務所の庭で子どもたちに読み書きを教えてくれていました。

フローレンシオ、ラモス、ベニ、イルラ、ダニロ



年々増えていく幼児組のお世話をしてくれている寺子屋キッズです。みんな大きくなった！

モザンビークのいのちをつなぐ会は、  
**小さいけれど、チカラ持ち！**な団体として  
貧困地区一人ひとりの命を守り、一人ひとりの可能性を育み  
一人ひとりの存在価値を高めていきます！





Obrigado!

支援の輪を広げたいっ!  
ご寄付はこちらから。



### 銀行振込でのご寄付

#### 銀行振込

三井住友銀行 天神町支店:717 (普)1920099  
一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会

※銀行振込された方は、ご寄付者の管理を正確に行うため、  
enomegu@gmail.com までメールを頂けると助かります。

#### PayPal (ペイパル)



paypal.me/terakoya  
[https://paypal.me/terakoya?country.x=JP&locale.x=ja\\_JP](https://paypal.me/terakoya?country.x=JP&locale.x=ja_JP)



### 寄付サイトでのご寄付

インターネットで簡単にご寄付。信頼できる寄付サービスを利用しています。



寺子屋キッズを毎月支援する仕組み

#### 寺子屋マンスリーサポーター

社会問題と向き合う人のクラウドファンディング、  
GoodMorningを利用しています。

<https://community.camp-fire.jp/projects/view/377263>



活動全般を都度や月、年とフレキシブルに応援

#### 単発・毎月・毎年のご支援

公益的な活動を行う非営利団体のための寄付  
プラットフォーム、シンカブルを利用しています。

<https://syncable.biz/associate/tsunagukai>



一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会 (PVM)

e-mail [enomegu@gmail.com](mailto:enomegu@gmail.com) / [may@tsunagukai.com](mailto:may@tsunagukai.com)

【日本事務所】 〒800-0233 福岡県北九州市小倉南区朽網西 3-12-6 Tel&Fax: 093-472-1444

【モザンビーク事務所】 Rua sem Saida, Bairro de Natite, Pemba, Cabo Delgado, Mozambique  
Tel: +258-86-5130004, 87-7417034

# <http://www.tsunagukai.com>



ホームページ



Facebook



MOZAMBIQUE.PVM

Instagram